

令和7年度「共に都井の子どもを育む学校評価」

都井小学校			現状及び課題解決に向けての協議		
評価項目	評価の具体的内容	到達目標・評価基準	学校評価	現状に対する ご意見・ご感想等 「○良い」「●改善が必要」「△検討が必要」	今後の改善策
学 力 向 上	<p>【授業改善等による学力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひなたの学び」を意識した都井小スタイルの確立及び複式指導の充実 ○ 経年変化による学力調査分析や取組の工夫・改善 <p>【家庭学習の充実・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年30分、中学年1時間、高学年1.5時間の家庭学習を指導 ○ 夏季・冬季・学年末休業中における計画的な家庭学習のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> □ 全国学力・学習状況調査（6年）・みやざき学力調査（4年）で全国及び県平均点と同等の結果の獲得 □ 単元ごとの形成テストで、達成目標点数（約80点）を上回る児童数70%以上（AIドリルの活用） □ 家庭との積極的な連携の工夫（読み声の実施・メディアコントロールの啓発・タブレットの持ち帰り活用等） □ 課題の提出及び学習時間の達成率70%以上 □ 年間図書貸し出し冊数1人50冊以上の達成 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校での学力に関することは、問題ない。家庭での対応も少しずつ良い方向に向かっていると感じる。【評】 ○ 一人50冊以上の貸し出しは、すごいと思う。【評】 ● みやざき学力調査の結果（4年）、くしま学力調査の結果（1年・2年・3年・5年・6年）では、学年によって差が見られた。今後は、特に、国語の「思考力・判断力・表現力」向上のための指導を行う必要がある。 ● 家庭学習の時間の少なさが課題となっているため、基礎・基本の定着を目指した家庭学習の工夫が、今後も喫緊の課題であると感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力検査結果の分析に基づいた全体的な取組と各学年児童の実態に寄り添ったきめ細かな取組を行っていく。 ○ 学校における学習と家庭での学習が連続するように、家庭と連携しながら家庭学習の充実を図っていく。 ○ 書くことによる学習効果に加え、タブレット（AIドリル）の効果的な活用により、個人差に対応した学習の充実を図る。 ○ 習熟の時間として設定している「ぐんぐんタイム」の効果的な活用について、再度検討し、基礎的・基本的な内容の習得（ドリル学習）と合わせて、苦手な分野向上の指導を行う。
生 徒 指 導	<p>【積極的な生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめや体罰は絶対に許さない体制の構築と不登校や問題行動の予防 <p>【人権・特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権・特別支援教育への意識向上を図るための研修の充実 <p>【あいさつ・言葉遣い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「明るく元気なあいさつ・会釈」と「時と場をわきまえた思いやりのある言葉遣い」の指導の徹底 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臼太鼓踊りへの参加 ○ 異世代間交流ふれあいスポーツ大会及び諏訪浜清掃の実施 ○ 秋まつりパレードへの参加 ○ 地域ボランティアによる「読み聞かせ」の定期的な実施 <p>【地域学校協働活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人材・素材を積極的に授業に取り入れるとともに、学校の情報を積極的に発信し、地域と結びあう学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> □ 月に1度の意識調査実施と結果を受けての対策委員会の実施 □ いじめや不登校を未然に防ぐこまめな児童観察と校内体制の充実 □ 特別支援教育・人権教育についての研修を実施するとともに、学期1回程度の校内就学指導委員会の実施 □ 人権や命に関する外部機関との連携 □ 登下校時や職員室等入室の際のあいさつ指導の継続 □ 保護者、職員の満足度（挨拶、言葉遣い）5段階で、自己評価3以上が100% □ 地域の祭り（火祭り）への伝統芸能の継承者としての参加（5・6年生） □ 異世代間が交流し、地域のよさを知るとともに、地域に生きる喜びを感じる場の設定 □ パレードへの参加をとおした郷土を知る意識の向上と募金活動の実施 □ 「読み聞かせ」の定期的な実施による読書率の向上及び生涯に渡る読書好きの児童の育成 □ 地域の人材・素材を取り入れた授業（平和学習・灯台スケッチ・都井岬学習）の実施 □ 地域への学校便り配付とホームページによる学校生活の配信 □ 学習発表会への招待 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の抱える不安や悩みを把握し、早期発見と早期解決につなげるように、アンケートや教育相談を月に1度実施している。いじめ・不登校対策委員会において全職員の共通理解と協議により、よりよい解決に向けて対応している。 ○ 全学年を対象とした平和学習（朗読劇）を実施した。命の尊さや平和の大切さを学ぶことができた。 ○ 先生方が子供達によく声をかけていることに感心している。（読み聞かせの時に、いつも思っていた。）【評】 ○ 先生方も元気に挨拶されて、職員室等への入室の際の元気のいい挨拶には、感心している。【評】 ○ 挨拶は、JA等で会うと、よくしてくれる。【評】 ● 朝の登校時の挨拶が少ない。【評】 △ 地域では、目が合っただけ無視する子供はいまません。挨拶までとなると少し個人差があると感じる。児童数が増え少なくなっていくので、機会を見て、大きな声での挨拶運動をやりたいと思う。【評】 ○ 臼太鼓踊りへの参加は、素晴らしい。中高生や大人の方との交流は、いい経験だと思う。【評】 ○ 臼太鼓踊りの練習の場に何回か行きましたが、熱心に取り組んでいる姿が印象的だった。【評】 ○ 異世代間交流は、地域の方も子供達の成長にふれることができ、是非続けてほしい。【評】 ○ 都井岬のことについて全学年で学習する機会を設けた。生涯学習課の秋田さんを講師に招いて学習をしたが、都井について詳しく知る場となり、子供達もさらに興味がわいてきたようだった。学習発表会で、地域の人に発表をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導面に関しては、今後も日々の観察や児童への意識調査、職員同士の情報交換に加え、保護者や地域からの情報をもとに、計画的または臨時に問題解決に向けた対応に努める。 ○ 子ども達が主体となってあいさつをしたり、会釈をしたりすることができるように、「あいさつをすることの意義と目的」について子ども達自身にしっかりと考えさせる機会を適宜設けていく。 ○ 児童の望ましい行動をほめて伸ばすSWPBSに取り組み、職員と児童が合意形成を図って作成したポジティブ行動マトリクスを意識した学校生活を支援していく。 ○ 次年度も臼太鼓踊りや異世代間交流活動の場で、地域との交流を続けていきたい。 ○ 4年間で学習が完結する計画になっているため、次年度も都井岬について学習する場を設けていく。

<p>体 力 向 上</p>	<p>【体力向上】 ○ 外遊びの励行を通して、進んで体を動かそうとする態度と運動の日常化を図る指導の徹底 ○ 体育の授業改善を通じた体力向上の意識化</p> <p>【食育】 ○ 弁当の日を設け、家庭と連携して、早寝・早起き・朝ご飯の実践など望ましい食生活の改善に努める継続的な指導</p> <p>【健康意識】 ○ 命を守る正しい知識のもとに、社会の中で実践できる行動様式を定着化させる指導の工夫</p>	<p><input type="checkbox"/> スクールスポーツプランを基に、県平均よりも劣っている項目の日常化</p> <p><input type="checkbox"/> 授業改善のための情報交換及びパワーアップタイムの設定、外遊びの励行</p> <p><input type="checkbox"/> 学期1回の「弁当の日」の設定</p> <p><input type="checkbox"/> 食事マナーや健康に対する意識の向上を目指した外部の機関(中学校栄養教諭等)との連携授業の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 食事マナーに関する自己相互の賞賛(賞賛カードの活用)</p> <p><input type="checkbox"/> 保健便りや学校保健委員会での啓発</p> <p><input type="checkbox"/> 手洗い・うがい・消毒等励行</p> <p><input type="checkbox"/> むし歯治療率50%以上</p> <p><input type="checkbox"/> 肥満児童への個別指導</p> <p><input type="checkbox"/> 身近な人に悩みを気軽に相談できる雰囲気醸成</p> <p><input type="checkbox"/> 学校保健委員会の積極的な啓発</p>	<p>3.6</p>	<p>○ 令和8年度スポーツテスト結果をみると、昨年度より今年度の方が伸びているので、評価できる。【評】</p> <p>○ 先生方の目配りがあり、子供との交流が見られる。すばらしい関係である。【評】</p> <p>○ 「好き嫌いなく食べる」「嫌いな物でも一口食べる」など食に関する子供の意識を高めるために、給食の時間に職員が声をかけながら指導を行っている。残量を減らすための試みを、子供達自ら考え実践している。</p> <p>○ 学校保健委員会では、児童と保護者で家庭生活を振り返り、改善すべきところを話し合い、実践していくワークショップを行った。大変有意義な時間であった。</p> <p>○ むし場の治療に関しては、昨年度は30%に届かなかったが、今年度は60%に上がり目標を達成することができた。</p>	<p>○ 今年度も体力テストの結果を受けて課題を知り、体力向上を図る手立てとなる投球や柔軟性の指導要素を授業に取り入れたり、昼休みの遊び方に工夫を取り入れたりした。</p> <p>○ 肥満児童については、個別の指導を養護教諭が行い改善の傾向にある。各家庭でも食事に対する意識を高く指導されたり、運動を推奨して家族で取り組まれたりしている様子もうかがえるため、今後も継続して指導を行っていききたい。</p> <p>○ 食事のマナーや健康に対する意識の向上を中学校の栄養教諭と連携しながら次年度も進めていきたい。</p> <p>○ 給食時間の目標を自分でたて、がんばったことを振り返る機会を設けている。自己肯定感を高め、賞賛活動を取り入れながら、食育を進めていきたい。</p>
<p>小・中・高 連 携</p>	<p>【くしま学を核とした連携推進】 ○ 小中高が連携した子どもたちへの望ましい学習・家庭習慣の定着 ○ 小中高一貫教育関連行事への積極的な参加</p>	<p><input type="checkbox"/> 小中が年間を通して連携した学習習慣・生活習慣の確立</p> <p><input type="checkbox"/> 5年生合同宿泊学習、6年生合同修学旅行(都井小・本城小・金谷小・有明小)、中学校合同学習会、キャリア教育合同学習会、かるた大会等への参加</p>	<p>3.5</p>	<p>● 中学校との連携の学習に対して、保護者のアンケートを見ると「分からない」が多い。【評】</p> <p>△ 是非、中学校との連携を深めてほしい。【評】</p> <p>○ 教職員の一貫教育に関する研修会や取組は計画的に実施することができている。</p> <p>○ 修学旅行やふれあい体験などの活動は、十分配慮しながら実施し、他校との交流を図ることができた。</p> <p>○ キャリア教育ワークショップが毎年5年生を対象に開催され、仕事に関する興味・関心を高めるきっかけとなっている。</p> <p>○ 串間市内の小学校6年生と串間中の2年生が一堂に会して、自分の人生について語る「語り場」が本年度も開催された。児童からも有意義な時間であったと好評である。</p> <p>○ 串間市特産品完熟金柑の収穫体験を本年度は、5年生が行った。本城小や福島小と合同で参加し、地域の特産品について学ぶことができ、大変素晴らしい体験となった。</p>	<p>○ 小中高との連携について具体的にどのようなことが行われているのかについて、学級懇談会やPTAの会合で説明したり紹介したりするようにしていきたい。</p> <p>○ 串間市全体で実施している各種体験活動に今後も積極的に参加しながら、他校との交流を深め、中学校へとつなげていきたい。</p> <p>○ 中学生とも連携した清掃活動等の実施を検討していきたい。</p>

